

オオヤマサギソウ

Platanthera sachalinensis Fr. Schm.

ラン科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

本県ではやや稀な植物である。(現況:R-)

形態

葉は大型のものが2枚で、上方の葉は次第に小さくなり鱗片葉となる。葉の表面には光沢があり、基部は細くなって鞘となる。茎の高さは40~60cm、茎には稜は発達せず、翼もない。茎の上部に、淡緑色の小花を多数密生し、穂状花序となる。距は細く15~20mm、入口に小さな舌状突起がある。唇弁は広線形で長さ7~8mm。

国内分布

北海道、本州、四国、九州、さらに南千島、樺太に分布する。

県内分布

南加賀区。

生態など

地生の多年生草本。開花期は7~8月。

生育環境

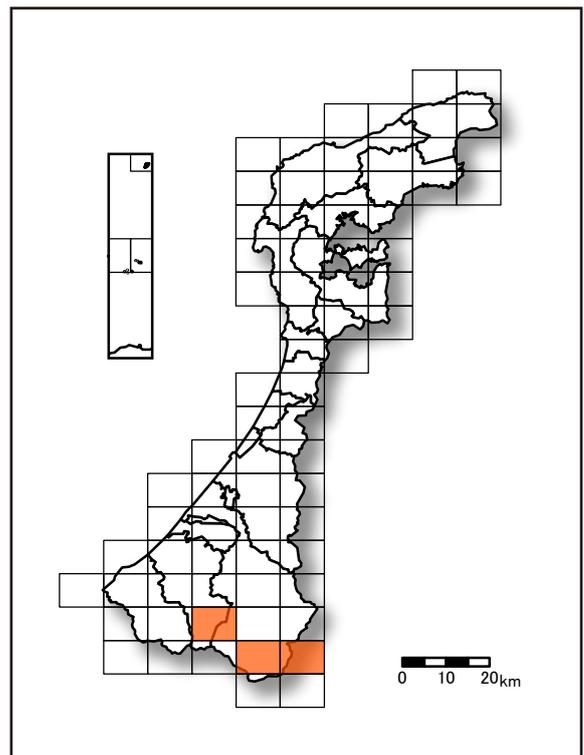
山林の林床。

危険要因

森林伐採、園芸採取。



林 二良・2008年7月16日・白山麓・(花)白井伸和



県内の分布